

第 129 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 23 年 1 月 28 日 (金) 14 : 30 ~ 16 : 30

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委 員 長 田辺 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研)、黒川 (産総研)、
竹内 (横河電機)、仲嶋 (三菱電機)

幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

129-1 平成 23 年度 計測技術委員会活動計画三次案

129-2 平成 23 年度 計測研究会開催予定三次案

129-3-1 平成 22 年度 計測技術委員会活動状況

129-3-2 平成 22 年 計測研究会開催状況

129-3-3 計測研究会プログラム (2 月開催分)

129-3-4 計測研究会プログラム (3 月開催分)

129-3-5 電気学会 研究会企画連絡シート (5 月開催分)

129-4-1 平成 23 年度電気学会東京支部連合研究会開催ご協力をお願い

129-4-2 平成 23 年度東京支部連合研究会に関する回答

129-5-1 平成 22 年優秀論文発表賞受賞候補者 (報告書)

129-5-2 平成 22 年電気学会 A 部門論文発表賞 A 賞割当数

129-5-3 平成 22 年度部門発表賞受賞候補者 (報告書)

129-5-4 優秀論文発表賞 (基礎・材料・共通部門表彰) 規程

129-6-1 特集論文の企画提案・割り当てについて

129-6-2 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙

129-7-1 電気工学ハンドブック (7 版) 改訂のための 6 版の目次見直し案

129-7-2 幹事会からの編主任殿への検討依頼事項 (案)

129-7-3 電気工学ハンドブック 7 版 編主任候補者検討結果

129-8 委員会構成員変更届

129-9-1 2010 年 Chapter 会計報告

129-9-2 Chapter 主催 Award 登録書

129-10 計測標準フォーラム第 8 回講演会

議 事

1. 議事録の確認

- ・異議なく承認された。田辺委員長より、特集論文はフルペーパー 8 件とレター 3 件の掲載が決定しており、2 件が査読中との報告があった。

2. 運営委員会報告

田辺委員長より、10 月 27 日に開催された運営委員会の報告があった。

- ・スマートグリッドについて、電気学会は特別研究委員会を設立している。
- ・特別研究委員会では全国大会でシンポジウムを行うが、原稿の一部を各技術委員会で書いてほしいとの要請があり、委員長が作成・送付した。

3. 平成 23 年度活動計画並びに計測研究会開催予定三次案
作本幹事より資料 129-1 および資料 129-2 に基づき、平成 23 年度活動計画並びに計測研究会開催予定三次案について説明があった。
 - ・二次案から変更はない。
 - ・研究会は 9 回を予定する。
 - ・佐賀大学で開催する研究会は 2 日間を予定するが、研究会資料は分冊とする。

4. 平成 22 年度活動状況
作本幹事より資料 129-3-1 から資料 129-3-5 に基づき、平成 22 年度活動状況について報告があった。
 - ・平成 22 年の計測研究会における発表件数は 79 件である。
 - ・全国大会は 3 月 16 日～18 日に大阪大学豊中キャンパスで開催される。
 - ・5 月の「計測一般」は 27 日に東京都内で開催を予定する。
 - ・今後の開催候補地として、6 月の「電磁波計測」は東北方面（青森を第 1 候補）を、7 月の「遠隔計測」は大阪以西を、平成 24 年 2 月の「光応用・温度計測」は三重の志摩地方を計画してはどうか。

5. 東京支部連合研究会
白井幹事補佐より資料 129-4-1 および 129-4-2 に基づき、東京支部連合研究会について報告があった。
 - ・連合研究会には「計測一般」のテーマで参加する。開催日は 9 月 6 日午後を希望する。

6. 優秀論文発表賞
白井幹事補佐より資料 129-5-1 から資料 129-5-4 に基づき、優秀論文発表賞受賞候補者について報告があった。
 - ・優秀論文発表賞の計測技術委員会への割当件数は 1 件で、次年度への繰越は 0.214 である。
 - ・採点を集計した結果、優秀論文発表賞は日本大学の松村氏を、部門発表賞は工学院大学の稲田氏を候補者として報告した。
 - ・今後の採点方法について、採点者は当日の座長に加え、計測技術委員会の委員又は委員が委嘱した方とする。
 - ・事前に採点者を考えておいて、採点シートを送付してはどうか。
 - ・評価にばらつきが生じるのはやむを得ないが、できる限り採点者が 3 名になるように努力する。

7. 特集論文
田辺委員長より資料 129-6-1 および 129-6-2 に基づき、特集論文について報告があった。
 - ・計測技術委員会が担当する特集論文は、平成 24 年 10 月号が予定されている。このため、4 月又は 5 月の編修委員会にテーマを諮る必要がある。
 - ・2 月の計測研究会「光応用・温度計測」の発表論文を特集号にしてもよいのではないか。その場合は、研究会の場においてアナウンスを行う必要がある。
 - ・特集論文の提案内容は、他の技術委員会の例を参考に幹事補佐が叩き台を作成し、幹事団でメール審議を行う。

8. 電気工学ハンドブックの改訂

田辺委員長および黒川委員より資料 129-7 に基づき、電気工学ハンドブックの改訂について報告があった。

- ・原稿の締切りは今年の9月末で、ページの分量は前回と同程度である。
- ・7章についてはアジレントに依頼しているが、執筆が困難な場合は横河電機にお願いする。
- ・8章は青山学院大の井出先生に担当をお願いするが、8.4章のFBGセンサについては9章に含めることも検討したい。井出先生が難しい場合は、FBGセンサを除いて三菱電機にお願いすることも検討する。
- ・9.1章は産総研の大苗氏に、9.2章はアンリツに、9.3章は横河電機に、9.4章は大谷幹事をお願いする。9.5章「偏光を利用した電界・磁界センサ」と9.6章「E-0 サンプルング」は9.4章に含めることとし、「電界・磁界センサ」の担当は黒川委員にお願いする。

9. 委員交替

田辺委員長より資料 129-8 に基づき、小野委員から日本大学の作田先生への交替について説明があり、異議なく承認された。

10. IEEE Chapter 報告

作本幹事より資料 129-9-1 および 9-2 に基づき、会計報告およびアワード登録について説明があった。

- ・支出の用途は協賛研究会の会場使用料などである。
- ・アワード登録を行った。対象は、今年11月に佐賀大学で開催予定の学生研究発表会である。来年の対象は電気通信大学で開催を計画する学生研究発表会としたい。
- ・授与者数は授与対象者総数の10%であることから、総数30名に対し3名となる。
- ・賞状の印刷代にはChapter費を充てたい。
- ・表彰の方法や対象者などに関するアワード内規を大谷幹事が作成し、メール審議を行う。

11. その他

- ・岩佐委員より資料 129-10 に基づき、2月17日に開催される計測標準フォーラム第8回講演会の紹介があった。

次回予定

日 時 平成23年4月22日(金)
場 所 未定